

平成26年度

イノシシ保護管理事業実績報告書(案)

イノシシ

県	1
白石市	4
角田市	5
蔵王町	6
七ヶ宿町	7
大河原町	8
村田町	9
柴田町	10
川崎町	11
丸森町	12
仙台市	13
名取市	16
岩沼市	17
亘理町	18
山元町	19
大和町	20
大衡村	21
大崎市	22
色麻町	23
加美町	24
栗原市	25

平成27年9月

宮城県環境生活部自然保護課

平成26年度イノシシ保護管理事業実績(県分)

宮城県

H26計画	H26実績	評価
<p>1. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整(狩猟を除く)</p> <p>イ 捕獲目標(県全体) <u>5,394頭</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県事業(個体数調整) <u>50頭</u> ・市町村事業(個体数調整及び有害鳥獣捕獲) <u>5,344頭</u> <p>ロ 狩猟期間の延長(2月16日から3月31日まで)</p> <p>ハ 個体数調整による捕獲の推進</p> <p>市町村の有害鳥獣捕獲と連動して、県北地域で個体数調整捕獲を実施する。</p> <p>ニ 狩猟捕獲に対する支援</p> <p>放射性物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円)を行う。</p> <p>ホ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整の資格緩和</p> <p>地域ぐるみによる取組により、狩猟免許を有しない者の参加も含めて検討する。</p> <p>ヘ 体制が整っていることを前提に、県北の重点区市町村に個体数調整捕獲許可の権限移譲を検討する。</p> <p>ト 有識者による被害防除(主に捕獲技術の向上)のための技術研修会を開催する。</p> <p>チ 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する講習会の実施への補助(交付金等活用協議会 H26 10協議会)</p>	<p>1. 数の調整に係る事項</p> <p>(1) 個体数調整(狩猟を除く)</p> <p>イ 捕獲実績(県全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県事業(個体数調整) <u>15頭</u> ・市町村事業(個体数調整及び有害鳥獣捕獲) <u>3,683頭</u> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟による捕獲 <u>1,222頭</u> 捕獲合計 <u>4,920頭</u> <p>ロ 狩猟期間の延長(2月16日から3月31日まで)</p> <p>ハ 個体数調整による捕獲の推進</p> <p>県猟友会に委託し、箱わなのほか、くくりわな及び銃猟も実施して、15頭の捕獲実績があった。</p> <p>ニ 狩猟捕獲に対する支援</p> <p>箱わなのほか、くくりわな及び銃猟も実施して、589頭の捕獲実績があった。</p> <p>ホ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整の資格緩和</p> <p>実施を検討している市町村に対し、情報提供等の支援を行った。</p> <p>ヘ 未実施</p> <p>ト ・H26.11.12 丸森町街づくりセンター会議室及び現地において 箱わな等によるイノシシ捕獲研修会開催 ・H26.11.28 林業技術総合センターにおいて くくりわなによるイノシシ捕獲研修会開催 ・H27.3.18 大崎合同庁舎において 野生鳥獣被害防止対策研修会開催</p> <p>チ 鳥獣被害防止総合支援交付金により、11協議会が実施した捕獲わな導入や講習会へ補助を行った。</p>	<p>【自然保護課】</p> <p>狩猟延長期間内に348頭捕獲(狩猟全体の28.5%)</p> <p>生息密度の低い地域での捕獲は困難であるが、今後の生息域拡大阻止のため、引き続き実施していく。</p> <p>引き続き狩猟捕獲に対する補助を行っていく。</p> <p>引き続き支援を実施する。</p> <p>重点区域市町村について検討する。</p> <p>継続して実施する。</p> <p>【農産園芸環境課】</p> <p>被害防止対策の実施に向け、交付金等の活用について引き続き指導・支援を実施していく。</p>

H26計画	H26実績	評 価
<p>(2)被害防除対策</p> <p>イ 林床等の野外で栽培される 特用林産物の被害防除対策等 について情報提供を行う。</p> <p>ロ 有害鳥獣対策への地域的な 取組支援</p> <p>普及指導員が地域的な有害 鳥獣対策を支援するため被害 軽減に係る情報提供や助言を 行う。</p> <p>ハ 鳥獣被害防止総合支援交付 金等による侵入防止柵(電気 柵, 金属柵等)の設置に対する 補助及び設置講習会実施への 補助</p> <p>ニ 集落ぐるみの対策モデル事 業の実施など, 市町村におけ る被害防止体制整備への支 援, 指導</p>	<p>イ 県内各地に配置されている林 業普及指導員等が, 普及活動 の一環として, 被害防除技術の 情報提供を行った。</p> <p>ロ</p> <p>・各普及センターに鳥獣被害 対策担当職員を配置し, 研修 等を実施して鳥獣害について の知識の習得と意識の醸成を はかった。 ・大河原普及センターのプロ ジェクト課題として, 丸森町峠 集落を対称に集落ぐるみの対 策の推進を図った。</p> <p>鳥獣被害防止総合支援交付 金により, 5協議会が実施した 侵入防止柵設置へ補助を行っ た。</p> <p>県内2箇所(丸森町, 大和町) で地域ぐるみの対策モデル事 業を実施した。</p>	<p>【林業振興課】 生産者のニーズに応じ て, 被害防除技術情報 を適切に提供した。</p> <p>【農業振興課】</p> <p>・継続して各普及セン ターに鳥獣被害対策担 当を配置する必要がある。 ・農業革新支援専門員 プロジェクト課題として, 被害防止対策等の普及 啓発を関係課, 市町村 等と連携して取り組む必 要がある。</p> <p>【農産園芸環境課】 被害防止対策の実施に 向け, 交付金等の活用 について引き続き指導・ 支援を実施していく。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続きモデル地区を 設置し, 地域ぐるみの対 策を普及, 啓発してい く。</p>
<p>(3)生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進</p> <p>水稻の被害軽減のため, 水 田周辺の除草作業や山林に接 する耕作地での山林側の除草 作業を推進。</p> <p>ロ 農地等周辺森林の適正管理</p> <p>イノシシ被害が確認される地 域においては, 引き続き, 補助 事業の活用等によりイノシシの 隠れ家となり得る, 農地周辺の 未整備森林の解消に向けた取 組を支援する。</p> <p>(4)その他</p> <p>イ 事業を円滑に実施するため 「鳥獣被害防止特措法」に基づ き, 市町村鳥獣被害防止計画 の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 イノシ シ対象 24市町村)</p> <p>ロ 鳥獣被害アドバイザー職員を 養成し, 地域での対策検討・実 施支援を行う。</p> <p>ハ 生態及び被害防止対策に関 する資料を作成し, ホームペー ジ等を通じて普及啓発を図る。</p>	<p>イ 緩衝帯設置の推進</p> <p>市町村へ取り組み推進を支援 した。</p> <p>ロ 農地等周辺森林の適正管理</p> <p>イノシシ被害の顕著な仙南地 域を中心に, 県有林の管理や 国庫補助事業を活用した除伐 等を実施し, イノシシの隠れ家 となる未整備森林解消に向け 支援した。</p> <p>18市町の計画策定, 更新を支 援した。うちイノシシ対象は18 市町村。</p> <p>農業普及指導員4名を国の養 成研修に派遣した。</p> <p>県ホームページへ関係情報を 掲載し, 普及啓発に努めた。</p>	<p>【農産園芸環境課】 市町村の取り組み状況 の把握に努めるととも に, 支援策を今後調整し ていく。</p> <p>【森林整備課】 引き続き未整備森林の 解消に向け, 事業活用 を働きかける。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き, 計画更新の支 援及び未策定市町村へ の支援を実施していく。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き, アドバイザー 職員を養成し, 地域での 対策検討・実施支援を 行う。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き普及啓発に努 める。</p>

H26計画	H26実績	評 価
<p>2. その他</p> <p>(1) 調査研究 捕獲状況調査 狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布を把握する。</p> <p>(2) その他</p> <p>イ 放射性物質検査 食用に供される野生鳥獣の肉について、放射性物質のモニタリング調査を行う。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ハ 圏域単位での広域連携会議及び被害獣種別の連携会議において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会の開催、広域連携での対策を実施し、被害を防止する。</p>	<p>捕獲状況調査 狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布を把握した。</p> <p>イ 放射性物質検査 県内各地から検体を集め、株式会社理研分析センターで測定した。 イノシシ肉についてはH24.6.25付けで全県を対象に国から出荷制限指示を受けている。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会、検討評価委員会をそれぞれ2回開催した。</p> <p>大河原地域で連携会議を実施し、被害防止対策等について検討、周知した。</p>	<p>【自然保護課】 継続実施する。</p> <p>【自然保護課】 今後も継続して検査を行い、情報提供していく。</p> <p>【自然保護課】 特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後も継続していく。</p> <p>【農産園芸環境課】 他地域においても連携会議の開催を誘導する。研修会等の開催により、普及啓発に努める。</p>

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 30.38 ha</p> <p>(2) 金額 24,851 千円</p> <p>(3) 作物 水稻</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 58.99 ha (H25) 33.76 ha</p> <p>(2) 金額 56,342 千円 (H25) 27,613 千円</p> <p>(3) 作物 水稻・飼料用作物・イモ類 (馬鈴薯・かんしょ)・野菜(とうもろこし・カボチャ等)</p> <p>(4) その他</p>	<p>原発事故の影響により、捕獲した汚染されたイノシシの処分による捕獲意欲の低下などから、実施隊の高齢化・隊員の減が進んでいる。</p> <p>今後、実施隊へ免許取得の助成等を図り、実施隊員の増加を目指す。なおかつ、箱罾等の積極的な導入により捕獲数の増加を図り、被害規模の縮小を目指す。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 900 頭 わな猟免許取得支援のために免許取得に関する案内を広報掲載する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置者個人負担(市補助1/3最高100,000円)により、電気柵(ネット柵)を50件・45,000m・2,000a設置する。 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の安全確保のため毎月除草を実施し、生息域の適正管理に努める。 <p>(4) その他</p> <p>被害対策経費 16,645千円 防護柵延長 95,207m (H25補助実績及びH26予定延長)</p> <p>うち新規 45,000m(電気柵) 2,283m(ワイヤーメッシュ柵)</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 834(内有害捕獲3) 頭 わな猟免許取得支援のために免許取得に関する案内を広報掲載した。 <p>(2) 被害防除対策</p> <p>設置者個人負担(市補助1/3最高100,000円)により、電気柵(ネット柵)を119件、67,395m、5,305a設置した。</p> <p>廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底した。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の安全確保のため毎月除草を実施し、生息域の適正管理に努めた <p>(4) その他</p> <p>購入者個人負担(市補助1/2最高30,000円)により、イノシシ用箱わなを18件、18基作成した。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 28,993 千円</p> <p>被害の防除方法は主に電気柵で対応しており、前年の1.67倍の申請があったが被害の減少には繋がらなかった。理由として①放射能の影響による捕獲数の減②電柵未設置場所への移動③繁殖による個体の増等が考えられるが、今後の対応として電気柵の補助継続、箱わな等の設置数の増及び3戸以上の農地集積地で国庫補助を取り入れた電気柵又は防護柵設置の普及に努めたい。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

H26計画	H26実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 11.75 ha</p> <p>(2) 金額 12,788 千円</p> <p>(3) 作物 農作物全般</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 15.45 ha</p> <p>(2) 金額 16,077 千円</p> <p>(3) 作物 作物全般</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田のけい畔や道路の法面に被害が多発した。 	<ul style="list-style-type: none"> 農作物の被害金額は、前年度を下回り、一定の効果が見られた。 しかし、目標達成とまでは行かず、依然として被害は多い。 また、作物以外にも水田のけい畔やため池などに被害が出ており、農作物以外の被害も深刻なものとなっている。 ※被害軽減目標の数値は、平成25年度実績の3割減で設定したもの。
<p>2. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 1,000 頭 角田市有害鳥獣駆除隊員連絡協議会員(駆除隊)による、市全域でのイノシシ個体数調整捕獲の実施 狩猟免許保持者による自己の管理する農地などを対象にしたイノシシ個体数調整捕獲の実施 狩猟期における一般狩猟者によるイノシシ捕獲数が激減していることを受け、捕獲数を年間1,000頭とする。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等防除施設の購入費に対する補助金 箱わな購入費に対する補助金 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民への広報など <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況把握について 被害現場の調査や関係機関からの情報収集。 狩猟免許取得の推進 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 角田市有害鳥獣駆除隊員連絡協議会員(駆除隊)によるもの 821 頭 一般狩猟免許所持者によるもの 0 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 計4,168aの農地に電気柵などが設置された。 7件 11基の箱わな購入に対し補助金を出した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民向けイノシシ対策の広報等(出前講座の実施など)を実施した。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民からの被害情報を基に、現場確認などを随時行った。 狩猟免許取得のための補助事業を行い、9名の活用があった。(狩猟免許取得促進事業。) 	<p>※年間被害対策経費合計 23,454 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、前年度より10名多い51名で個体数調整を行い、821頭を捕獲したものの、依然として被害は多い。 今後、補助事業の周知に力を入れ、駆除隊員の拡大を図り、捕獲圧を高める必要がある。 依然として被害は多く、地域としての対策が必要となっている。 各種補助金の案内などを積極的に行い、各種補助金とも多数の利用があり、一定の効果が見られた。 また、出前講座や講習会により市民に被害対策を学んでいただく事ができたため、今後の地域対策に繋がる期待が持てる。 住民からのイノシシ被害情報を基に、現場確認を随時行っているが、徐々に被害地域が拡大している。 イノシシの捕獲数が大きく増加しているものの食用として利用できない状況が続いており、捕獲後の処理が大きな問題となっている。
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 角田市鳥獣被害防止対策協議会主催で、イノシシ被害対策の研修会を実施する。 イノシシの資源活用等(処分方法)について 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域単位で、全8回の講習会を実施した。 イノシシを資源活用したいところだが、未だ放射能の数値が下がらず、ほとんどが埋め捨てや焼却処分となっている 	<ul style="list-style-type: none"> イノシシによる被害対策について、広く啓発できるものとなった。 平成23年度にイノシシの売却を許可したが、放射能問題のため、売却できる施設が客離れにより閉鎖してしまった。

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.00 ha</p> <p>(2) 金額 300 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 8.30 ha</p> <p>(2) 金額 6,559 千円</p> <p>(3) 作物 水稻・飼料用作物・イモ類 (馬鈴薯)・野菜(とうもろこし・ カボチャ等)</p> <p>(4) その他</p>	<p>・ 目標値を大幅に上回った。次年度では電気柵に対する補助金を活用し軽減を目指していきたい。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 ・ 捕獲目標 100 頭</p> <p>(2) 被害防除対策 ・ 電気柵, 耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。前年度より補助率を上昇している。</p> <p>・ 生ゴミや農作物残さを適正処理するよう農家へ指導する。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>(4) その他 被害対策経費 2,250千円</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 155(内有害捕獲129)頭</p> <p>(2) 被害防除対策 ・ 電気柵設置に対する補助金 件数 92件 補助金額 5,194千円</p> <p>・ 周知チラシの配布</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>(4) その他 ・ 電気柵設置に対する補助 ・ 町協議会に対する補助 ・ 被害対策総合交付金の活用 (捕獲用わな購入)</p>	<p>※年間被害対策経費合計 10,596 千円</p> <p>内訳</p> <p>○蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 3,500千円</p> <p>○電気柵設置に対する補助金 5,194千円</p> <p>○鳥獣被害対策総合交付金 1,902千円</p> <p>※平成26年度において、有害鳥獣解体場を建設した。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.20 ha</p> <p>(2)金額 1,450 千円</p> <p>(3)作物 水稻</p> <p>(4)その他</p>	<p>(1)面積 1.87 ha</p> <p>(2)金額 1,543 千円</p> <p>(3)作物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻 1.07ha 1151千円 ・ 野菜 0.00ha 0千円 ・ 豆類 0.00ha 0千円 ・ 果樹 0.00ha 0千円 ・ 牧草 0.80ha 392千円 <p>(4)その他</p>	<p>被害の増加となったのは、水稻と牧草に関して被害が増加した為である。</p> <p>これらは、捕獲圧を強めているが「イノシシ」の増加に伴い、流動域が変わったためと考えられる。併せて、捕獲目標頭数まで捕獲できなかった。</p> <p>イノシシの流動域が町内全域で全ての耕作地が被害区域となった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 30 頭 <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵設置の推奨 ・ 電気柵講習会の開催 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放棄、取り残し農作物の除去 ・ 農地周辺の除草作業の実施 ・ 耕作放棄地の軽減 ・ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業の実施 <p>(4)その他</p>	<p>(1)個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績 34頭 (内有害捕獲20頭) <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵設置の推奨をしたが、イノシシに対しては認知状況が低く、実績には結びつかなかった。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置があった。農作放棄地は例年とほぼ変わらない状況だった。農地周辺、山林側での除草作業は実施でき <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 545 千円</p>
<p>3 その他</p>		

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

大河原町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 2.20 ha</p> <p>(2) 金額 2,000 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、野菜(いも類)、たけのこ</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 3.20 ha</p> <p>(2) 金額 2,772 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、野菜、(芋類)、たけのこ</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個体数の増加により新たな農地へ被害が拡大している。 ・ 被害届を提出していないが自主防除に取り組む農家も多いとみられる。 ・ 防護柵導入を呼び掛けてはいるものの、平成26年度に補助事業活用した農家は少ない。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 60 頭 ・ 箱わな及びくりわなの設置箇所を増やし、60頭の捕獲を目標とする。 ・ わな免許取得支援のために、一人当たり5千円の補助を継続する。 ・ 被害防止に関する講習会を開催する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵(ネット柵)を設置するとともに、被害の軽減を図る。 ・ 地域全体で講習会を開催するなどして、情報の共有を図っていく。 ・ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。 ・ 青色LEDライトを20機貸出する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の安全確保のためにも、耕作放棄地の適切な刈り払いを実施し、生息域の適正管理に努める。 <p>(4) その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 60 頭 ・ 箱わな及びくりわなの設置箇所を増やし60頭を捕獲した。 ・ わな免許取得支援のために一人当たり5千円の補助を実施した。 ・ 被害防止に関する講習会を開催した。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル的に電気柵を農家に貸し出した。 ・ 講習会を開催し被害防止情報の共有を図った。 ・ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底した。 ・ 青色LEDライトを20機貸し出した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の安全確保のため耕作放棄地の適切な刈り払いを実施し生息域の適正管理に努める。 <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 959 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通りの捕獲実績となった。しかし捕獲した個体数以上に生息数が増加しており今後も対策が必要と考えられる。 ・ 一方、狩猟者の減少や高齢化により捕獲数の減少も懸念されており、草刈の徹底や周辺林地の適正管理、網や電気柵の設置など農家による自主防除を呼び掛ける必要もある。 ・ 引き続き、自主防除により効果のあがったところもあるが、適正な農地管理ができていない農地に新たな被害が発生しているところもあり今後の課題となっている。 ・ 捕獲した個体の処分方法も負担となっている。
<p>3 その他</p> <p>放射性物質の測定を実施する。</p>	<p>3 その他</p> <p>放射能測定を実施した。</p>	<p>測定で基準の100Bqを超える線量の個体もある。</p>

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

村田町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 30.00 ha</p> <p>(2)金額 1,198 千円</p> <p>(3)作物 水稻及び野菜を中心</p> <p>(4)その他</p>	<p>(1)面積 18.65 ha</p> <p>(2)金額 1,753 千円</p> <p>(3)作物 水稻及び野菜中心</p> <p>(4)その他</p>	<p>・ 被害面積は、目標を下回っているが、逆に被害金額は、増加している。水田での被害が顕著であり、被害を受けた水田は、全体の刈り取りを行わない傾向にあるため被害額が増加したと考えられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 100 頭 ・ わな免許取得支援のために、一人当たり5千円の補助を継続する。 <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵(ネット柵)の設置助成を新たに実施 ・ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。 ・ 被害防止や事故防止に関する啓蒙活動の実施 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田など、耕作放棄地の除草の実施を呼びかけ、生息域の適正管理に努める。 <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 100 頭 ・ 免許取得支援実績 実績なし <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵(ネット柵)の設置助成を拡充 ・ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するよう農家への指導、及びチラシ等で周知 ・ 捕獲隊の全体会議を開催し被害の実情、情報の提供また、事故防止の徹底を呼び掛けた。(2回実施)全体会議の回数2回 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田など、耕作放棄地の除草の実施を呼びかけ、水田の刈り取り時期の早期水抜きを呼びかけた。 <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>村田町一般関係 3,469千円</p> <p>村田町有害鳥獣対策協議会会計 4,944千円</p> <p>計 8,413千円</p> <p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵(ネット柵)助成事業については、農家に対する周知が実を結び申請者が昨年を上まわった。 1. 集荷農家 設置費用の1/2上限100,000 2. 自家消費農家 設置費用の1/3上限50,000円 ・ 免許取得に対する助成については、免許取得者は、いたものの助成に対する周知不足により申請者がいなかった。今後は、猟友会などとも連携し周知を徹底していきたい。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田など、耕作放棄地の除草の実施を呼びかけ、水田の刈り取り時期の早期水抜きを呼びかけたものの就農者の高齢化により年々実施するのが困難な状況にある。
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

柴田町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.30 ha</p> <p>(2)金額 300 千円</p> <p>(3)作物 馬鈴薯・タケノコ及び水稲を中心</p> <p>(4)その他</p>	<p>(1)面積 2.78 ha</p> <p>(2)金額 1,962 千円</p> <p>(3)作物 馬鈴薯・たけのこ及び水稲中心</p> <p>(4)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共済の被害報告数値を合算したためH26年度被害については増加。 ・ 慣れによる被害届けを提出しないケースがある。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 200 頭 ・ わな免許取得者を増やす。 ・ 被害防止に関する講習会を3回開催する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家個人による侵入防止柵の設置及び集落単位での侵入防止柵設置。 ・ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈りを実施し、また、各農家の耕作放棄地の除草を行い、生息域の適正管理に努める。 <p>(4) その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 52 頭 ・ 新たに5名わな免許を取得した。 5名 ・ 講習会の開催はなかった。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々人で自主防衛のため侵入防止柵設置を指導した。 ・ 廃棄野菜・生ゴミの適正処理の指導徹底した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈を実施した。 <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 7,120 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の町に対する依存度は高くなっているが、一方で自主防除の取り組みが進み一定の効果があがっている。
<p>3 その他</p> <p>資源活用の面から捕獲後の肉について、自己消費に努める。</p>	<p>3 その他</p> <p>資源活用の面から捕獲後の肉は放射能検査済みのものについては自己消費に努めた。</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.76 ha (H25) 2.21 ha</p> <p>(2) 金額 183 千円 (H25) 229 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 大豆, 玉ねぎ, かぼちゃ, いちご, ばれいしょ, かんしょ</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 5.21 ha</p> <p>(2) 金額 503 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 大豆, 玉ねぎ, かぼちゃ, いちご, ばれいしょ, かんしょ</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲活動を推進したが面積・金額ともに減少に至らなかった。更なる捕獲活動の推進と防除柵導入への補助を拡充し被害面積と金額の減少に繋げる。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 250 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎町有害鳥獣捕獲隊によるくくりわな及び箱わなによる捕獲の実施。 電気柵等防除柵の普及及びイノシシの隠れ場となる荒廃森林の整備並びに適正な個体数調整により、捕獲個体数を250頭とし農業被害の3割削減を目標とする。 新たな電気柵の考案及び設置をする。 目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図る。 有害個体の捕獲及び放獣 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稻の被害軽減のため水田周辺の除草作業をする。 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の広報や、チラシの配布による鳥獣被害防止に関する住民への啓発 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 有害捕獲</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 233 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎町有害鳥獣捕獲隊によるくくりわな及び箱わなによる捕獲を実施した 電気柵等防除柵の普及のため町単独補助事業を実施 イノシシの捕獲活動全てを個体数調整から有害捕獲へ変更し延べ233頭を捕獲 目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図った。 有害個体の捕獲 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進した。水田周辺は実績無し <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の広報や、チラシの配布による鳥獣被害防止に関する住民への啓発活動を実施した。 	<p>※年間被害対策経費合計 12455 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎町有害鳥獣捕獲隊によるくくりわな及び箱わなによる捕獲を通年で実施し個体数減少に寄与した。 電気柵等防除柵への町単独補助を推進し電気柵を導入する農家が増加した。 目撃情報を周知し注意啓発を図った結果、人的被害は無しとなった 山林に接する耕作地での山林側の除草は広報や住民への周知が円滑に推進しなかった。町広報等を利用し周知徹底を図りたい。 広報等で電気柵の町単独補助の実施を周知した結果、電気柵を導入する農家が増加した。自主防除への意識向上を図る。
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 15.00 ha</p> <p>(2) 金額 3,800 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 野菜, 豆類等を中心</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 22.22 ha</p> <p>(2) 金額 6,034 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、飼料作物、野菜などに被害があった。</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に比較し、被害面積、被害額ともに増加。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 2,000 頭 イノシシ肉が放射能の影響で食肉として活用できなくなったため、狩猟期間中も個体数調整捕獲を実施する。 わな免許取得者支援のための補助金を交付する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等の防除対策のための補助金を交付する。 被害防止に関する研修会を、関係機関と連携して開催する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑草や雑木の繁茂する荒地等を解消するよう呼び掛ける。 <p>(4) その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 980 頭 有害鳥獣駆除隊への補助金等交付による捕獲の実施。 わな免許取得補助金申請 1 人 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等設置への補助金申請者 151件 丸森町鳥獣対策協議会総会時に合わせ、丸森町における有害鳥獣被害対策の現状と対策について研修会を実施した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑草や雑木の繁茂する荒地等を解消するよう呼び掛けた。 <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <ul style="list-style-type: none"> 駆除隊への補助金等 10,547 千円 (駆除隊補助金1,927千円) (緊急捕獲等交付金8,620千円) (サルを含む) わな免許取得等交付金 87 千円 (銃砲所持許可分を含む) 電気柵等補助金 8,148 千円 電気柵設置による被害防除効果はあるものの、設置後の草刈り等維持管理の徹底が必要。普及センターの指導によるモデル地区の取組みについて対策協議会総会時研修を行った。 有害鳥獣の被害による営農意欲の低下。高齢化などによる耕作放棄地が年々増加傾向にある。 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会負担金 3,249千円
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 丸森町鳥獣対策協議会補助金60千円

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1. 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 5.28 ha</p> <p>(2) 金額 4,870 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、大豆、たけのこ、ばれい しょ、とうもろこし、かぼちゃ等</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 6.59 ha (H26実績) 参考 12.4 ha (H25)</p> <p>(2) 金額 7,419 千円 (H26実績) 参考 10,778 千円 (H25)</p> <p>(3) 作物 水稻、ソバ、ばれいしょ、かぼ ちゃ、タマネギ等</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被害面積・金額ともに、鳥獣被害防止計画(平成24年度策定)にて設定した目標値には届かなかったが、昨年度と比較すると、減少が見られる。これは防護柵の設置地域や総延長が増加したことが考えられるが、今後、未設置地区における被害発生が懸念されるほか、設置地域においても道路や水路などからの侵入も考えられるため、捕獲も含めたより一層の対策が必要である。
<p>2. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 350 頭 <p>・ 有害捕獲の実施</p> <p>・ イノシシ捕獲施設整備(箱わなの購入) 整備計画数 22基</p> <p>・ 安全対策に配慮したくくりわなによる有害捕獲の段階的実施</p>	<p>2. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績 <u>179頭(有害捕獲)</u> (平成25年度実績 314頭) <p>協議会に所属する猟友会捕獲隊等によって有害捕獲を実施した。 また、仙台市では有害捕獲の他に、捕獲技術向上を目的とした研究捕獲を実施している。</p> <p>・研究捕獲実績 50頭</p> <p>・ イノシシ捕獲施設整備 箱わな 22基 購入</p> <p>・ 平成26年度は、くくりわなを7基購入し、有害捕獲の段階的実施を行った。 なお、平成26年度におけるくくりわなによる捕獲数は10頭で、平成25年度におけるくくりわなの捕獲数の3倍強となって</p>	<p>※ 年間被害対策経費合計 <u>95,573千円</u> (その内、国補助は 89,340千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲数については、目標値に達していないが、過去の捕獲数と比較すると、平成25年度の314頭に次ぐ高い数値となっている。今後は防護柵の設置による行動の変化も把握しながら効率的な捕獲を行っていく。 捕獲技術向上を目的とした研究捕獲の委託事業が平成25年度で完了となったため、同事業が無くなることによる捕獲数の減が懸念される。 捕獲隊員の高齢化や捕獲檻の増加により猟友会等への負担が増しており、今後とも若年層の狩猟者の確保に努めていく必要がある。 くくりわなによる捕獲も有効と評価しており、今後とも錯誤捕獲や安全対策に配慮していく。

H26計画	H26実績	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・ イノシシ捕獲報奨金 有害捕獲目的でイノシシを捕獲した者に対して報奨金を支払うことにより、イノシシ捕獲への意欲向上を図る。 ・ 緊急捕獲等推進事業交付金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲強化を図った。 (5000円/頭) 対象捕獲数 179頭(再掲) 報奨金総額 895,000円 ・ 平成26年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲強化を図った。 成獣(8,000円/頭) 幼獣(1,000円/頭) 対象捕獲数 179頭 内訳 成獣 139頭 幼獣 40頭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで114基整備しているが、被害地域の拡大に伴い、さらに増設の必要がある。 また、箱わなの増加に伴い、管理(見廻り)の負担が増えており、地域ぐるみの見廻り等の実施地区を増やしていく取組みが必要である。 ・ 捕獲意欲の向上と維持のため、国や県の補助制度や、報奨金制度を活用し、対応して参りたい。
<p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市西部地域を中心に、生息域が急激に拡大しているイノシシ等による農作物被害を軽減するため、地域ぐるみの被害防止対策を計画的に進めていく。 ・ 農作物有害鳥獣対策防除支援事業補助 集落による被害防止対策を推進するため、農業集落や実行組合等の組織が当該地域の被害防止計画を作成し、その計画に基づいた対策(防除、捕獲)を講じる場合、以下の支援を行う。 <p>①防護柵補助</p> <p>ア) 国の補助採択事業の場合 定額補助</p> <p>イ) ア) 以外で地域を囲う防除柵の延長が1,000m以上の場合、事業費の2/3補助</p> <p>ウ) ア)、イ) 以外の場合 事業費の1/3補助</p>	<p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に沿って対策を実施した。詳細は下記の通り。 ・ 農作物有害鳥獣対策防除支援事業補助 集落による被害防止対策を推進するため、農業集落組織が対策(防除、捕獲)を講じる場合、以下の支援を行った。 <p>①防護柵補助</p> <p>ア) 国の補助採択事業 4団体、93.6km</p> <p>イ)、ウ) 併せて29団体が37箇所を設置している。 23.6km</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防護柵を設置した地域からの被害報告が少なく、防護柵設置による被害防止対策は有効であることが裏付けられている。 ・ 防護柵を設置していない地域では、防護柵を設置した地域からイノシシが移動してくるのではないかという懸念の声が上がっている。 また、今後これまでに被害のなかった防護柵のない地域で被害が発生することが予想される。 ・ 平成21年度からの設置延長は約217.5kmとなっているが、併せて捕獲対策も必要である。 ・ 防護柵が風水害などにより破損し、補修が必要になっており、小規模な補修については、協議の上、協議会の構成団体である農協と協議のうえ、資材を調達できるようにした。

H26計画	H26実績	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 狩猟免許取得経費補助 農家が取得するわな猟免許試験受験者用講習会経費6千円(定額)補助 ・ 捕獲檻(箱わな)購入補助 購入経費の1/3補助 ・ 有害鳥獣対策ボランティア確保事業 地域が防護柵を設置する時や、草刈など防除対策を進める場合、登録ボランティアによる支援を行う。 ・ 研修会等の実施 効果的な地域ぐるみの取組みを促進するため、農業者等を対象に研修会を実施する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地の維持管理 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣による農作物被害防止支援事業委託 国の緊急雇用創作事業を活用した標記業務について、イノシシ被害防止対策の指導とともに、これまで検証して得られた箱わななどによる効率的な捕獲方法について、さらに調査、検証を行い、得られた成果や知見等を猟友会や地域に提供する。 ・ 広域連携 県の広域協議会(振興事務所単位、獣種別会議を含む)において、有効な対策について要望していくとともに、各自治体の情報共有により、広域的な対応を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わな免許取得経費補助 7人 (平成25年度実績 0人) ・ 箱わな購入補助 4基 (平成25年度実績 0基) ・ 有害鳥獣対策ボランティア確保事業 ボランティアを要請する地域がなかったことなどから実施には至らなかった。 ・ 研修会等の実施 平成25年度は地域ぐるみの捕獲対応実施地区において、効率的な捕獲方法やイノシシの生態について講習会を開催した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地の維持管理について、イノシシ侵入防止のためにも、耕作放棄地の草刈りなどを実施するように広報した。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣による農作物被害防止支援事業委託 イノシシ被害防止対策や防護柵の管理方法について指導を行うとともに、これまで検証して得られた効率的な捕獲方法や防除対策について、得られた成果や知見等を猟友会や地域に提供した。 ・ 広域連携 県の広域協議会において、有効な対策について要望していくとともに、各自治体と情報共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会経費及び箱わな購入補助については、平成25年度は実績がなかったが、平成26年度は地域ぐるみの捕獲対応の意識が高い地域を中心として、左記の実績があった。 今後、補助率や上限額を増やし、地域ぐるみの捕獲対応を推進していく。 ・ 今後、地域ぐるみの被害防止対策が重要となってくることから、実施地区を増やすためにも地域農業者等を対象に研修会を実施し、先行事例等について、情報提供を行う必要がある。 ・ 引き続き、耕作放棄地の草刈りなどがイノシシの侵入防止に有効であることの広報に努め、生息地の適正管理を行う必要がある。 ・ 同事業の委託が平成26年度で完了したため、今後は協議会を構成する団体において、今までの検証で得られた効率的な捕獲方法や防除対策について地域等に提供して参りたい。 ・ イノシシの生息域は県全体に拡大しており、今後も各自治体がさらなる連携により、情報共有や対策を実施していく必要がある。
<p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射性物質調査 	<p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射性物質調査 県の調査結果を補完するため、イノシシの放射性物質調査を6検体実施した結果、全て基準値未満であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狩猟者の意欲低下を防ぎ捕獲を促進するため、放射性物質の影響について、今後も県の発する情報を注視して参りたい。

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

名取市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.80 ha</p> <p>(2) 金額 1,040 千円</p> <p>(3) 作物 野菜(イモ類、トウモロコシ) 水稲、筍</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 1.90 ha</p> <p>(2) 金額 2,160 千円</p> <p>(3) 作物 野菜(イモ類、トウモロコシ) 水稲、筍</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害調査の結果、予想を超える被害面積と金額であった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 50 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地に野菜くず等のイノシシを誘引するものを放置しないよう指導する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地周辺の除草作業を推進する。 <p>(4) その他</p> <p>被害対策経費 2,000千円</p> <p>防護柵延長 0m</p> <p>うち新規 0m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 29 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <p>農地に野菜くず等のイノシシを誘引するものを放置しないよう指導した。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地周辺の除草作業を推進した。 <p>(4) その他</p> <p>被害対策経費 2,000千円</p> <p>防護柵 5,000 m</p> <p>うち新規 5,000 m</p>	<p>※ 年間被害対策経費 合計 712千円</p> <p>11月から、「わな」による捕獲を実施し、29頭の捕獲実績となった。</p> <p>イノシシの生息数は、大幅に増加しているとみられるため、今後も宮城県猟友会岩沼支部の協力を得ながら被害縮減と有害捕獲を実施する。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

岩沼市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.84 ha</p> <p>(2) 金額 930 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 畑作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 6.93 ha (H25) 1.40 ha</p> <p>(2) 金額 10,036 千円 (H25) 1,550 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、豆類、野菜、 いも類、たけのこ 他</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害調査の結果により、予想を超える被害の実態がある</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 30 頭 ・ 有害鳥獣捕獲により実施 ・ 狩猟免許新規取得に係る費用の助成を行う。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付金を活用し、地域の合意形成を基に電気柵の整備を実施する。 ・ 被害防除の意識啓発を併せた被害状況調査の実施 <p>(3) 生息地の適正管理 耕作地等の除草作業の推進を併せた被害状況調査を実施する。</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害対策経費 2,479 千円 ・ 防護柵延長 10,000 m うち新規 5,000 m 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 31 頭 ・ 狩猟免許新規取得に係る費用の助成を行った。 10件 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害の大きい地区において、住民の合意のもと電気柵を設置。 電気柵延長 17,000m ・ 被害防除の意識啓発を併せた被害状況調査の実施 回答者数 84人 <p>(3) 生息地の適正管理 被害状況調査に合わせ、耕作地等の除草作業実施を依頼</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害対策経費 3,920 千円 ・ 防護柵延長 21,710 m うち新規 17,000 m 	<p>(1) 個体数調整 捕獲や電気柵設置等の対策を行ったが、被害実態に追いついていない。狩猟免許新規取得への助成を行い、成果があった。</p> <p>(2) 被害防除対策 電気柵設置等の対策を行った地域では被害軽減を図れたが、これまで被害防除等の対策を行っていなかった地域にて被害が拡大していると考えられる。</p> <p>(3) 生息地の適正管理 鳥獣が身を隠したまま耕作地等へ近付くような環境が多々見受けられることから、引き続き除草作業等の推進を図っていく必要がある。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

亘理町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.60 ha</p> <p>(2) 金額 887 千円</p> <p>(3) 作物 リンゴ、畑作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 0.75 ha (H25) 0.75 ha</p> <p>(2) 金額 1,109 千円 (H25) 1,109 千円</p> <p>(3) 作物 リンゴ、水稲、畑作物</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 100 頭 これまで被害が確認されなかった国道6号線付近の農地や、一部の民家にまで被害が拡大していることから、個体数調整の目標を100頭とする。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元農家の狩猟免許取得者に箱わなを貸し出し、有害鳥獣駆除を実施する。 町単独事業の捕獲報奨金制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地帯（耕作放棄地）を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置する。 <p>(4) その他 被害対策経費 2,650 千円</p> <p>防護柵延長 0 m</p> <p>うち新規 0 m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 80 頭 頭数あたりは前年以下の実績があった。農地以外にも住宅地への出没傾向が見られ、被害範囲が拡大していることに伴い、目標達成には至らなかった。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元農家の狩猟免許取得者に箱わなを貸し出し、有害鳥獣駆除をした。 平成26年度より緊急捕獲対策事業を活用し、亘理町総合農政企画推進協議会を通じて亘理町有害鳥獣駆除隊による有害鳥獣駆除・個体数調整の捕獲において、わなの設置数を拡大させた。 町単独事業の捕獲報奨金制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地帯（耕作放棄地）を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置した。 <p>(4) その他 被害対策経費 1,831 千円</p> <p>防護柵延長 0 m</p> <p>うち新規 0 m</p>	<p>※年間被害対策経費合計 1,831 千円</p> <p>(電柵補助金550千円・亘理町総合農政企画推進協議会有害鳥獣駆除費1,281千円)</p> <p>昨年と比較し、捕獲頭数は減少したものの、捕獲個体自体は親個体がやや増加したため、効果はあったと考えている。</p> <p>しかしながらこれまで活動範囲ではなかった場所での被害件数が増加傾向にあるため結果として被害金額を減少させるに至らなかった。次年度においてははくくり罠をより有効活用するとともに、捕獲範囲も広げるよう努めたい。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.00 ha</p> <p>(2) 金額 1,500 千円</p> <p>(3) 作物 ジャガイモ・タケノコ・水稲・リンゴ・イチジク・トウモロコシ・ミョウガ</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 1.44 ha</p> <p>(2) 金額 1,552 千円</p> <p>(3) 作物 ジャガイモ・野菜類・タケノコ、かぼちゃ、さつまいも、水稲、いちじく、とうもろこし、栗、そば</p> <p>(4) その他</p>	<p>・被害面積及び被害金額ともに減少に至らなかった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 100 頭 個体数調整のための捕獲と併せて有害鳥獣捕獲も同時に実施 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等の防護策に対し、1/2補助を実施。 電気柵等の自己防衛で対応できない場合は個体数調整、有害捕獲で対応 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内西側にある東街道周辺が主な生息区域であり、山間部の農作物に被害が多くなっている。 <p>(4) その他</p> <p>被害対策経費 千円</p> <p>防護柵延長 0 m</p> <p>うち新規 0 m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 53 頭 (うち有害捕獲 25 頭) <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等の防護策に対し、1/2補助を実施。 電気柵等の自己防衛で対応できない場合は個体数調整、有害捕獲で対応 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内西側にある東街道周辺が主な生息区域であり、山間部の農作物に被害が多くなっている。また、近年においては、6号線以東の浜通り地区にも出没して被害を与えている。 <p>(4) その他</p>	<p>・個体数調整並びに有害駆除における捕獲実績は、計画より大幅に減少しているが、一般狩猟者の捕獲頭数が2年連続で250頭を超しているため、生息数も横ばいであると思われる。</p> <p>・電気柵だけでなく、ワイヤーメッシュを購入する農家も増えてきている。</p> <p>・生息地が広域的になったため、被害農地の状況の管理が難しくなってきた。</p> <p>※ 年間被害対策経費合計</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作物有害鳥獣対策協議会 2,144千円 被害防除対策助成費 974千円 合計 3,088千円 <p>※ 協議会の経費は、イノシシ以外も含む。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.08 ha</p> <p>(2) 金額 72 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, イモ類</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 0.93 ha</p> <p>(2) 金額 1,418 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, イモ類, 豆類, その他(ゆり)</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防除対策・自衛体制を強化したが、被害軽減目標数値までは達しなかった。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 50 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導する。 侵入防止対策等の指導。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作物収穫残渣の除去や追い払い花火などの導入により、自衛体制を強化する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害対策費 923 千円 防護柵延長 4,000 m うち新規 4,000 m 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 25 頭 (うち県による個体数調整7頭) (うち有害捕獲 18 頭) <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 侵入防止対策等の指導。 ワイヤーメッシュ柵の購入, 設置(約10km) <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作物収穫残渣の除去や追い払い花火などの導入により、自衛体制を強化を促した。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害対策費 11,315 千円 防護柵延長 10,600 m うち新規 10,600 m 	<p>※年間被害対策経費合計 11,315 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標の50頭までは捕獲できなかったが、捕獲頭数は年々増加している。今後も、捕獲強化を図るようにしたい。 ワイヤーメッシュ柵を地域ぐるみで大規模に設置したことにより、設置地域内の被害の軽減が図れた。
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 県モデル地区事業(沢渡地区)の実施にかかる支援。 広報紙等を活用し、被害対策や注意喚起等、町民への情報発信。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 県モデル地区事業(沢渡地区)の実施にかかる支援。 イノシシ被害対策に係る研修会を実施し、町民への情報発信 	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

大衡村

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.10 ha</p> <p>(2) 金額 100 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 2.80 ha</p> <p>(2) 金額 107 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業共済組合等被害状況調査の照会を行った結果、被害が多かったことが分かった。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 10 頭 前年度は有害捕獲で対応した。しかし、イノシシによる被害区域の拡大及び被害額の増大が懸念されることから、平成23年度より県の個体数調整で対応した。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稲の被害削減のための水田周辺の除草作業をする。 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害対策費 千円 防護柵延長 m うち新規 m 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 3 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収穫農作物の処理を農家に指導した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家の方へ水田周辺の除草作業を推進した。 山林に接する耕作地の耕作者に対し、除草作業を行うように働きかけた。 <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 0 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 有害捕獲により3頭捕獲したが全てくり罠による捕獲のみだったので大量捕獲のためには箱罠での捕獲が必要。
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.22 ha</p> <p>(2) 金額 230 千円</p> <p>(3) 作物 水稻・畑作物 水稻を中心に、檻による保護及び電気柵による被害防除を推進することにより、被害を軽減させることを目標とする。</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 2.20 ha (H25) 0.14 ha</p> <p>(2) 金額 420 千円 (H25) 146 千円 ※水稻のみ(共済)</p> <p>(3) 作物 ・牧草 ・水稻 ・畦畔の損傷</p> <p>(4) その他</p>	<p>・被害防止計画策定時よりイノシシの農作物被害が大きいため被害軽減目標数値を変更しなければならない。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 ・捕獲目標 5 頭</p> <p>(2) 被害防除対策 ・ 檻, わなの設置による捕獲の実施 ・ 電気柵の設置</p> <p>(3) 生息地の適正管理 ・ 休耕地の除草作業の推進 ・ 樹木の除去による干渉帯設置</p> <p>(4) その他 ・ 被害対策費 千円 ・ 防護柵延長 0 m うち新規 0 m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 2 頭 (うち県による個体数調整2頭)</p> <p>(2) 被害防除対策 ・ わなの設置による捕獲対策を行った。 ・ 電気柵の設置</p> <p>(3) 生息地の適正管理 ・ 休耕地の除草作業 ・ 樹木除去は実施せず。</p> <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 317 千円 (狩猟期間中1頭の捕獲)</p> <p>・ わなの設置を2度行ったが、捕獲にはいたらなかったため、捕獲技術の習得に努める。</p> <p>・ 休耕地の除草作業については個人でおこなっているが、樹木撤去については、農家の高齢化もあり実施できなかった。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

色麻町

H26計画	H26実績	評 価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.01 ha (2)金額 4 千円 (3)作物 水稻、根菜類 (4)その他	(1)面積 9.4 ha (H25) 0.04 ha (2)金額 115 千円 (H25) 18 千円 (3)作物 水稻、飼料作物、いも類 (4)その他	実績が目標を大きく上回る形となってしまうことを受け、対策の見直しが必要である。
2 被害防止対策 (1)個体数調整 ・ 捕獲目標 4 頭 (2)被害防除対策 ・ チラシ配布による広報活動 ・ 有線放送による注意喚起 (3)生息地の適正管理 ・ 有線放送による周知 (4)その他 ・ 被害対策費 0 千円 ・ 防護柵延長 0 m ・ うち新規 0 m	2 被害防除対策 (1)個体数調整 ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 2 頭 (うち県による個体数調整2頭) (2)被害防除対策 ・ 有線放送による注意喚起 (3)生息地の適正管理 ・ 有線放送による周知を行った。 (4)その他 ・ 被害対策費 0 千円 ・ 防護柵延長 0 m ・ うち新規 0 m	※年間被害対策経費合計 0 千円 箱わなでの捕獲には至らなかったが、冬季の巻き狩りで2頭捕獲できたことで防除対策は行えたといえる。
3 その他	3 その他	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 2.66 ha</p> <p>(2) 金額 750 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、サツマイモ、牧草</p> <p>(4) その他 冬期間に重点捕獲期間として巻き狩りを実施し、捕獲頭数の向上を図る。</p>	<p>(1) 面積 4.40 ha (H25) 3.80 ha</p> <p>(2) 金額 1,067 千円 (H25) 1,072 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、サツマイモ</p> <p>(4) その他 冬期間に巻き狩りを実施し、21頭を捕獲した。</p>	<p>冬期間、巻き狩りを実施し21頭の捕獲実績となった。イノシシの生息数は大幅に増加しているとみられるため、今後も被害縮減のため引き続き宮城県猟友会大崎支部加美町分会の協力を得ながら被害縮減・有害駆除を実施していく。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標 50 頭 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵の設置に対する補助を実施する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害対策費 1,200 千円 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 捕獲実績(狩猟分除く) 22 頭 (うち県による個体数調整1頭) <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵等8件の購入助成を行った。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 猟友会会員、自然保護員等が山林に接する牧草地での堆肥の管理について指導を随時行った。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害対策費として1,518千円支出した。 	<p>※年間被害対策経費合計 1,518 千円</p> <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害防除に一応の効果がみられるので継続して実施する <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切に管理されていない場所が多く見受けられるので今後も継続して適正管理を呼びかけます <p>冬期間、21頭捕獲した。今後も被害縮減のため引き続き宮城県猟友会大崎支部加美町分会の協力を得ながら被害縮減・有害駆除を実施していく。</p>
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 町鳥獣被害防止対策協議会活動を周知する。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年8月の町広報誌において電気柵購入助成等の記事を掲載した。 	

平成26年度イノシシ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

栗原市

H26計画	H26実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.20 ha</p> <p>(2) 金額 210 千円</p> <p>(3) 作物 水稲などの被害拡大防止のため電気柵等による被害防除を推奨することにより被害を軽減させることを目標とする。</p> <p>(4) その他</p>	<p>(1) 面積 0.74 ha (H25) 0.40 ha</p> <p>(2) 金額 384 千円 (H25) 428 千円</p> <p>(3) 作物 水稲(作付け期間)</p> <p>(4) その他</p>	<p>目標を上回る被害原因として、防除対策を講じていない山間地域で被害が拡大した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲目標 5 頭 ・ 有害個体の捕獲及び宮城県の個体数調整捕獲で対応する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵の購入に対する補助を実施する。 ・ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。 ・ 被害発生により有害個体の捕獲を実施する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作地に接する山林側の除草作業を実施する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害対策経費 千円 ・ 防護柵延長 m ・ うち新規 m 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲実績(狩猟分除く) 3 頭 (うち県による個体数調整 3頭) <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎ環境税交付金事業【防護設備購入補助】6基分(6名)へ補助 ・ 目撃件数8件 ・ 捕獲実績0件 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害耕作地に接する山林側の除草を指導。 <p>(4) その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 電気柵購入補助 259 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施した。 <p>適時対応していただいた。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	